

COI-NEXT拠点との連携の観点 からのカンボジア王国視察報告

大橋眼科医院 山口克宏

カンボジア王国の眼科医療戦略目標

- ① サービス提供：包括的かつ負担可能な価格で提供される質の高い眼科医療サービスを、質を高めながら、よりアクセスしやすく、利用しやすくする。
- ② 人材：訓練を受けた有能な（知識、態度、技能、様々な技術分野）、意欲のある十分な数の眼科医療従事者により医療システムを展開できるようにする。
- ③ 医薬品、技術、インフラ：十分な量の負担可能な価格で確実な品質の眼科医薬品と眼科用品を供給し、眼科機器と技術の利用を拡大し、施設のインフラを改善する。
- ④ 財政：眼科医療サービスに使える財源を増やし、支出の効率化を図り、社会保護制度を通じて眼科医療サービスへのアクセスにおける経済的障壁を軽減する。
- ⑤ 情報：意思決定、計画立案、モニタリング・評価、効果的な眼科医療サービスの提供のために、タイムリーで質の高いデータと情報を提供する統合的な眼科医療情報システムを強化する。
- ⑥ リーダーシップ・ガバナンス：保健システムの不可欠な部分として眼科医療システムを効果的に管理するための組織的能力とガバナンスを強化し、質の高い眼科医療サービスへの普遍的なアクセスに向けて取り組む。

出典:NPEH, Ministry of Health, National Strategic Plan for
Blindness Prevention and Control 2021-2030, 2022.

カンボジアにおける眼科医の状況

公的セクターに勤務する眼科医は 80 名で、人口 100 万人あたりの眼科医数は5.12人であり、世界保健機関(WHO)の推奨である10人のおよそ半分である。失明原因のうち 92.2%は回避可能であり、そのうち 80.9%は治療可能、5.9%は眼科一次診療で予防可能、5.4%は高度な眼科医療によって予防可能である。戦略計画では「2030年までに0.35%に低減する」ことを目標としている。

失明の要因および推計失明者数

1 未治療の白内障	80.5%
2 トラコーマ以外の角膜混濁	4.4%
3 眼球異常	4.4%
4 後眼部疾患／中枢神経系疾患	3.4%
5 白内障手術合併症	3.4%
6 緑内障	2.0%
7 眼球癆	1.0%
8 未矯正の屈折異常	0.5%
9 トラコーマによる角膜混濁	0.5%

COI-NEXT拠点との連携の観点からの視察

1. Techo-Santepheap National Hospital

2022年末に設立. ベッド数は1万. 眼科は準備中.

2. Calmette Hospital

伝統的王立病院. 眼科医は15名程度. 階層的には上級

3. Khmer-Soviet Friendship Hospital

階層的には中級. オーストラリアの支援

4. Preah Ang Duong Hospital

階層的には下級. 韓国の支援

5. Sunrise Japan Hospital

北原脳外科病院が母体. 眼科は無し. JICAが支援

プノンペン空港 田井進在仙台カンボジア王国名誉領事館名誉領事の出迎え



Techo-Santepheap National Hospital



មន្ទីរពេទ្យជាតិ តេចោសន្តិភាព
TECHO SANTEPHEAP NATIONAL HOSPITAL



FACEBOOK



TELEGRAM

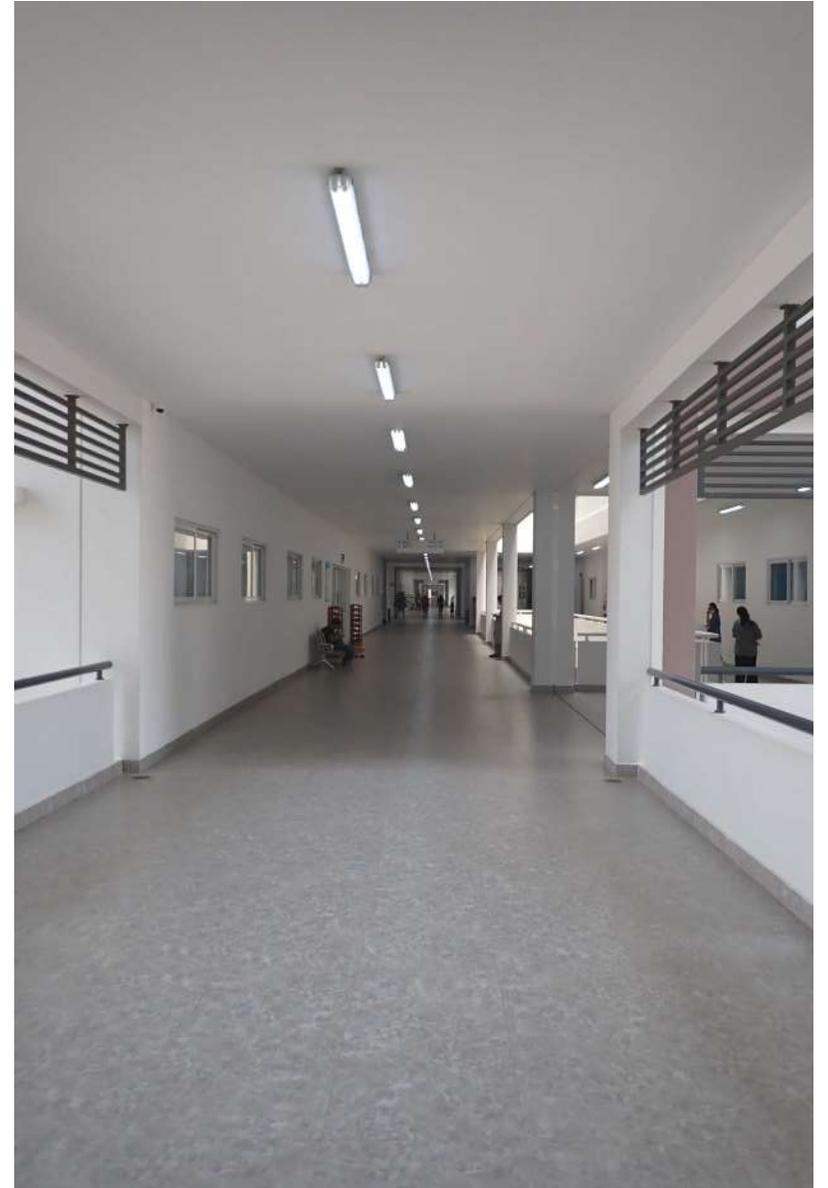


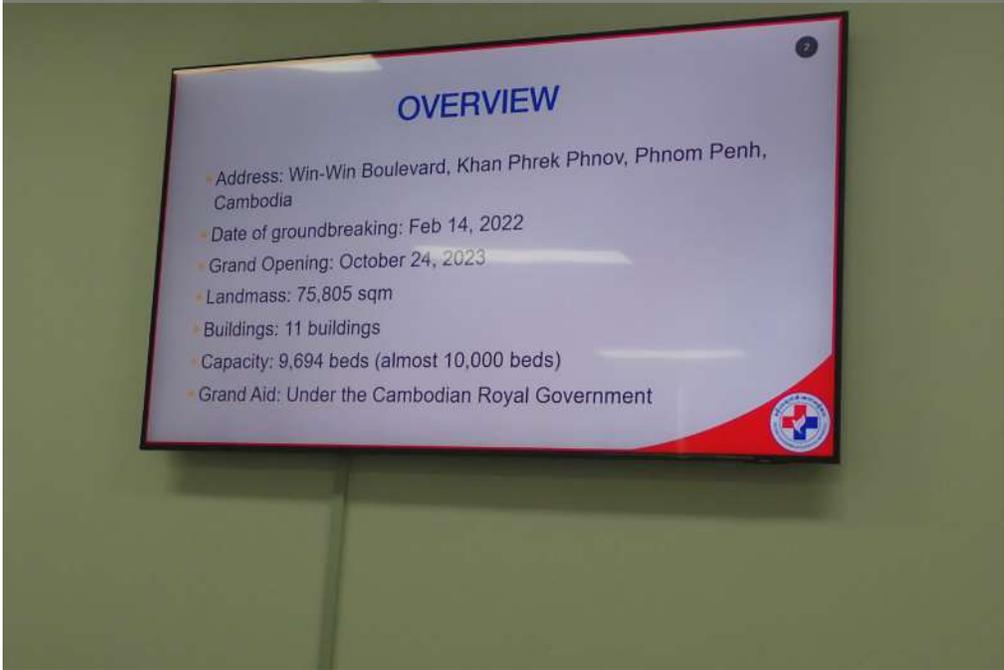
TIKTOK

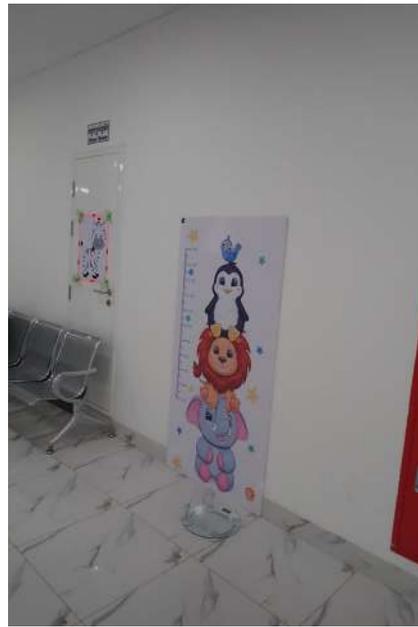


ទីតាំង - MAP

📍 មហាវិថីឈ្នះឈ្នះ ភូមិកប់ស្រូវធំ សង្កាត់គោករកា ខណ្ឌព្រែកព្នៅ រាជធានីភ្នំពេញ







市内の様子



街中の医療器械店



Calmette Hospital





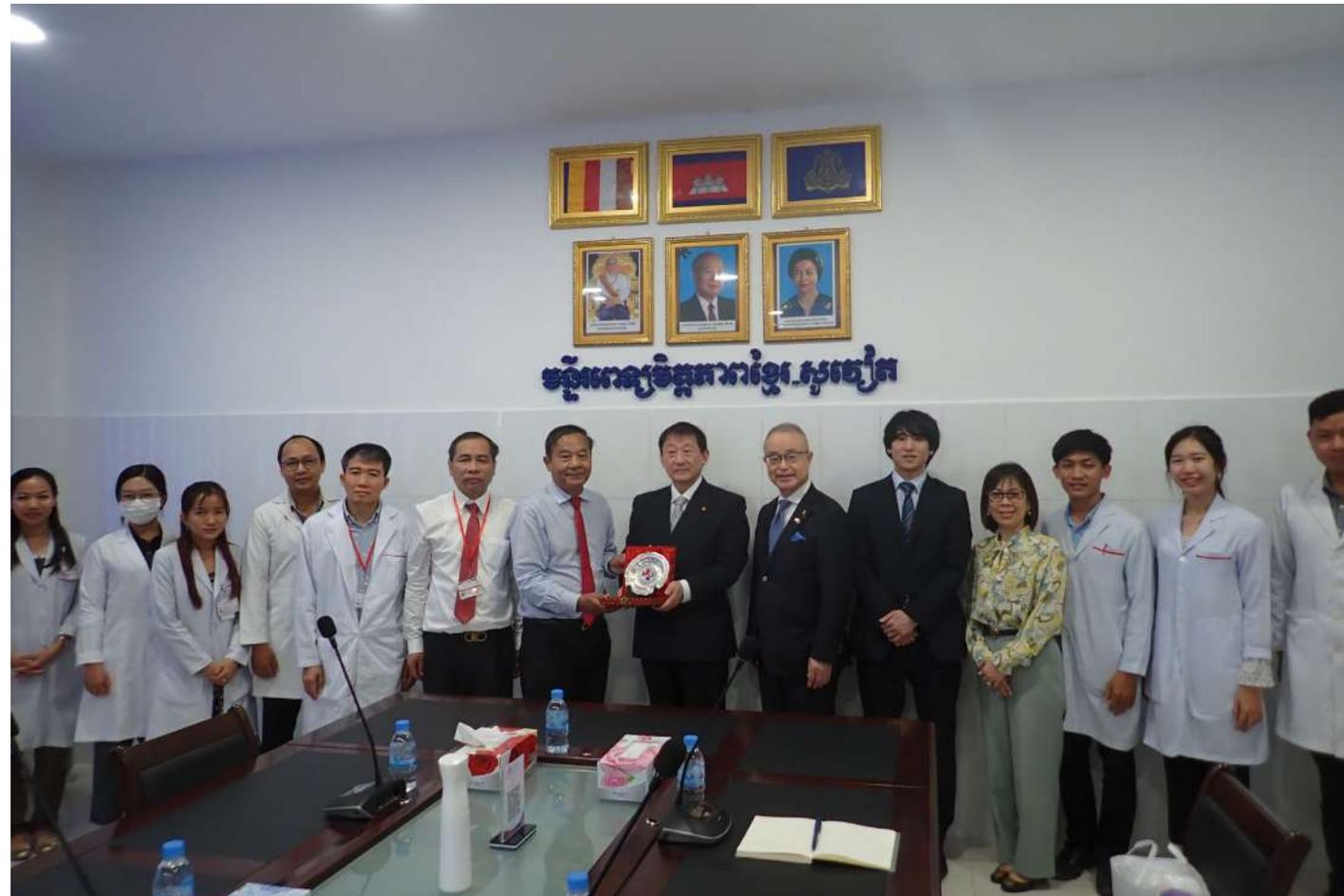
眼科部長および眼科医師との面談



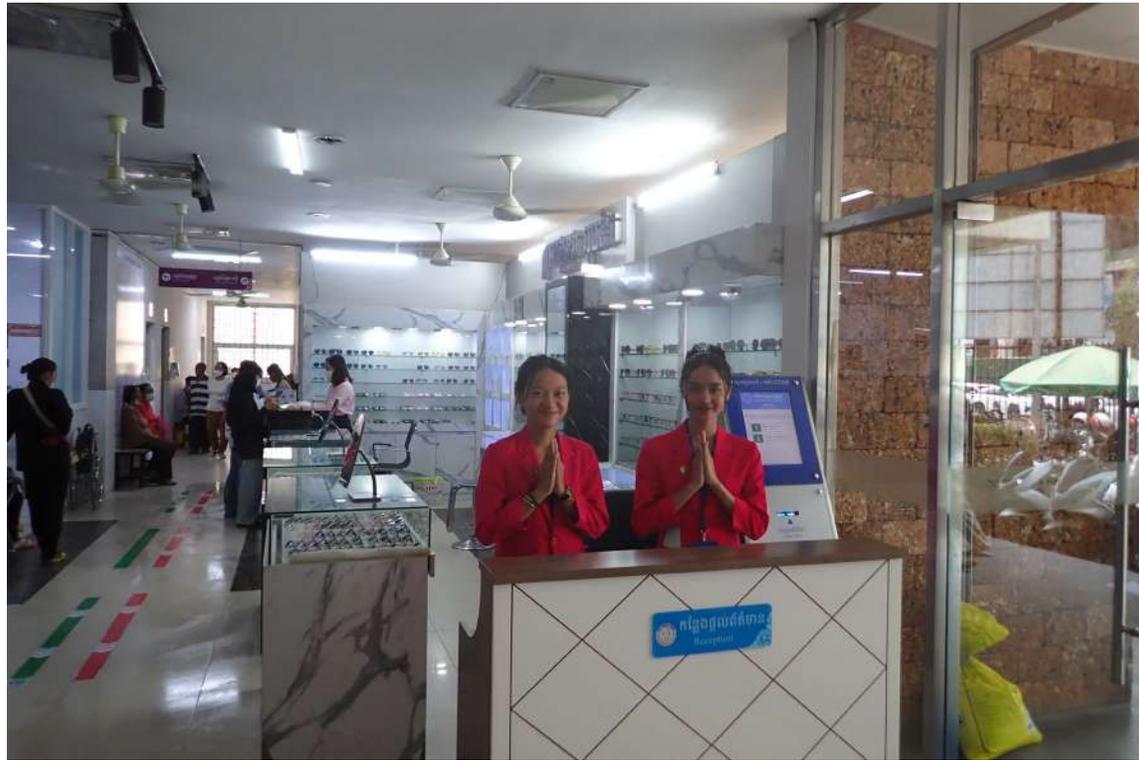
Khmer Soviet Friendship Hospital



Khmer Soviet Friendship Hospital 眼科医師との面談



Preah Ang Duong Hospital 眼科医師数が45名ほど



外来患者数は相当多く 白内障手術は年間1万件ほど





Sunrise Japan Hospital の岡和田院長と

